

Ⅱ 今に息づく街道と宿場

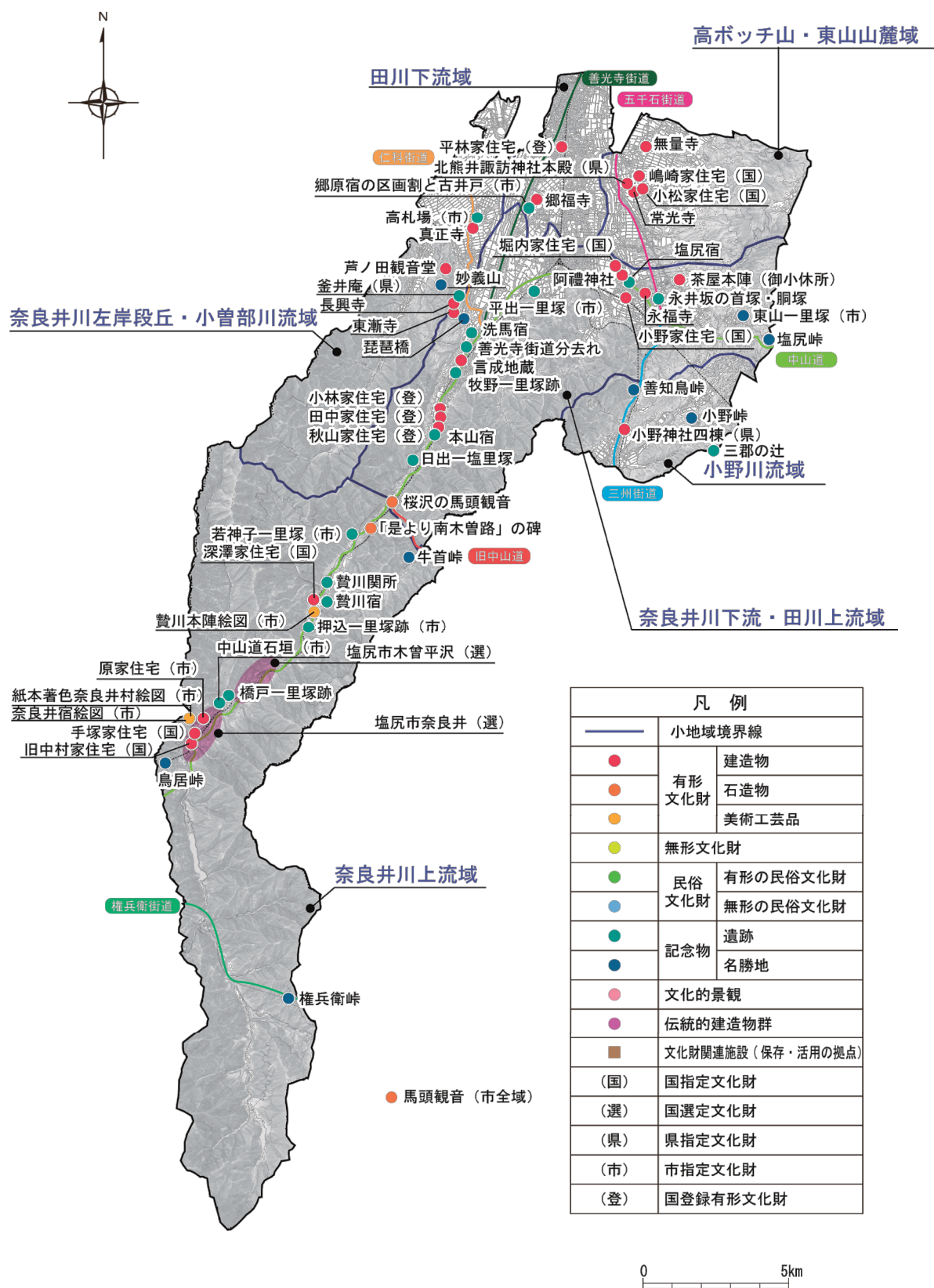
律令政権の時代になると、中央と地方国府間の伝達を円滑にするために官道が整備され、塩尻には官道である東山道や吉蘇路が通り、人や情報の往来がより盛んになりました。特に江戸時代になると、中山道をはじめとする様々な方面を結ぶ街道が整備されるとともに、それに伴う宿場・一里塚等が設けられました。これら街道や宿場は、時代の変化により当時の様相から大きく変わってしまいましたが、そこには今でも歴史が息づいています。

◆中山道とその宿場

中山道下諏訪宿（下諏訪町）から、塩尻峠を越えると塩尻に入ります。そのまま峠を下りながら中山道を西に進めば塩尻宿に至ります。塩尻宿には中山道最大規模の本陣や脇本陣、幕府の代官所である陣屋、松本藩の口留番所などが置かれました。明治時代には大火に見舞われ多くの建造物が失われましたが、上級旅館である小野家住宅などが今でも残っています。塩尻宿を抜けた中山道を西に向かい、平出一里塚を経由して南の木曽方面へ向かうと洗馬宿があります。洗馬宿は中山道と善光寺街道との分岐点にもなった宿場で、その追分にあたる場所には今も常夜灯が残されています。洗馬宿からさらに南に進むと次は本山宿になります。本山宿の現在の建物の多くは大火後の明治期のもので、宿場内を通る中山道であった道も拡張されていますが、秋山家住宅・田中家住宅・小林家住宅の3件の登録文化財建造物が連続で建ち並ぶ姿に当時の面影を残しています。本山宿を抜け、昭和初期に建てられた「是より南木曽路」の石碑を通ると木曽路に入ります。木曽には11の宿場が整備されましたが、その最初の宿場が贄川宿です。贄川宿には復元された関所が置かれているほか、重要文化財深澤家住宅等わずかに古い建物が残っています。贄川宿から重伝建地区に選定されている木曽平沢の漆工町の町並みを進むと奈良井宿に入ります。奈良井宿は宿場と櫓物細工や塗櫓といった木工業により発展した宿場で、近代以降大火がなかったことから江戸時代末の形式を持つ町家が多く残り、中山道沿いに約1kmにわたって建物が連続して建ち並ぶ町並みは見事で重伝建地区に選定されています。奈良井宿を通過した中山道は、最大の難所と言われた鳥居峠を越えて蕨原宿（木祖村）へと続いて行きます。

◆塩尻市域の脇往還

中山道を含めた五街道のほかにも、江戸時代には脇往還と言われるいくつかの主要道路が市域を通っていました。中山道と洗馬宿から分かれ、北に向かい善光寺（長野市）へ至る道は善光寺街道（北国脇往還）と呼ばれ、郷原宿はその最初の宿場です。江戸時代後期の2度の大火で宿場のほとんどが全焼したため、当時を偲ぶ建物はわずかですが、街道の両側に建ち並ぶ家々の敷地は、宅地とその奥の耕地とが整然と地割される状態が残り、南北にまっすぐに伸びる街道と相まって、整った景観を生み出しています。広丘原新田方面から塩尻宿を通り善知鳥峠を越えて伊那方面に至る三州街道は、「中馬の道」とも呼ばれ、江戸時代には物資輸送の中馬の通る道として大変賑わいました。北小野地区の沿道に多く建てられた馬頭観音像はその当時を物語っています。一方、市域の東側、江戸時代に高島藩領であった東五千石と呼ばれる地域には、塩尻宿から北へ延びてやがて松本市内で善光寺街道と合流する道が通り、五千石街道と呼ばれました。このほか、本洗馬から北進して松本盆地を南北に縦断し糸魚川へと通ずる仁科街道や鉄道開通以前まで、伊那の米を米穀に乏しい木曽へ運ぶ幹線として重要な機能を有していた権兵衛街道といった道が市域を通り、それに伴う文化財が残っています。



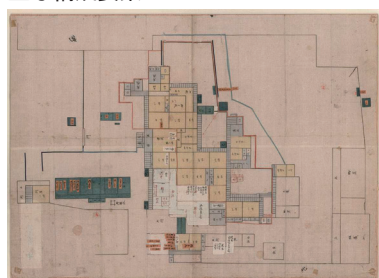
構成要素の分布

構成要素一覧

区域	種別等		構成要素
奈良井川上流域(櫓川周辺)	有形	建造物	深澤家住宅(国)、旧中村家住宅(国)、手塚家住宅(国)、原家住宅(市)
		美術工芸品	贄川本陣絵図(市)、紙本著色奈良井村絵図(市)、奈良井宿絵図(市)
		石造物	「是より南木曾路」の碑、桜沢の馬頭観音
	記念物	遺跡	若神子一里塚(市)、押込一里塚跡(市)、橋戸一里塚跡、中山道石垣(市)、贄川関所、贄川宿
		名勝地	牛首峠、鳥居峠、権兵衛峠
	伝建地区		塩尻市奈良井(選)、塩尻市木曾平沢(選)
奈良井川下流・田川上流域(宗賀・大門・塩尻東周辺)	有形	建造物	堀内家住宅(国)、小野家住宅(国)、秋山家住宅主屋(登)、田中家住宅主屋(登)、小林家住宅主屋(登)、永福寺、阿禮神社、言成地蔵、茶屋本陣(御小休所)
		記念物	平出一里塚(市)、東山一里塚(市)、牧野一里塚跡、日出塩一里塚跡、永井坂の首塚・胴塚、善光寺街道分かれ、塩尻宿、洗馬宿、本山宿
		名勝地	塩尻峠
田川下流域(広丘・吉田・高出周辺)	有形	建造物	平林家住宅主屋(登)、郷福寺
	記念物	遺跡	郷原宿の区画割と古井戸(市)
高ボッチ山・東山山麓域(片丘周辺)	有形	建造物	嶋崎家住宅(国)、小松家住宅(国)、北熊井諏訪神社本殿(県)、常光寺、無量寺
奈良井川左岸段丘・小曾部川流域(洗馬周辺)	有形	建造物	東漸寺、長興寺、芦ノ田観音堂、真正寺
	記念物	遺跡	釜井庵(県)、高札場(市)
		名勝地	妙義山、琵琶橋
小野川流域(北小野周辺)	有形	建造物	小野神社四棟(県)
	記念物	遺跡	三郡の辻
		名勝地	善知鳥峠、小野峠
全域	有形	石造物	馬頭観音像

※凡例 国：国指定文化財 選：国選定文化財 県：県指定文化財 市：市指定文化財 登：国登録有形文化財

主な構成要素



贄川本陣絵図



郷原宿



馬頭観音

「今に息づく街道と宿場」における課題・方針・措置

(1) 課題

街道と宿場が多く残されていることは、本市の特徴であると言えますが、それが市民に十分に浸透しているとは言えず、保存・活用に関する取組みも一部に留まっています。地域の文化財を確実に次世代に継承するとともに、街道や宿場に関する文化財について、公開や情報発信を積極的に行うことで周知を図り、認知度の向上を図る必要があります。

現在、地域の文化財を観光資源として活用したイベント等を実施しているだけでなく、郷土愛の醸成を図る機会として、学校教育、生涯学習、郷土学習等の事業が展開されています。今後は、それぞれの事業を連動させ、市民が学習した知識を文化財の保存・活用に生かしていく仕組みづくりが必要です。

(2) 方針

- ・地域に保管されている資料の散逸を防止し、文化財の公開や多様な媒体での情報発信などを通じて、街道や宿場に関わる文化財の周知を図り、その魅力を伝えます。
- ・街道にまつわる文化財を観光資源として活用し、文化財や日本遺産にまつわる各種イベント等を企画・実施します。また、学校教育、生涯学習、郷土学習事業を通じて市民の郷土愛を醸成し、観光ガイドとして市民が活躍できる場を整備します。

(3) 措置 (※No.の1列目は通し番号、2列目は関連する第4章4節の措置番号、枝番は掲載回数を示す。)

No.		措置の名称 内容	実施主体			実施期間			財源
			地	所	市	前期	中期	後期	
①	12-1	地域資料の散逸防止 文化財関連施設等で街道や宿場に関する資料の寄贈受入、収集を行う。			◎			→	市
②	20-2	文化財の公開 小松家住宅や小野家住宅、手塚家住宅をはじめとする文化財のさらなる公開を行う。また、文化財関連施設において、街道や宿場に対する企画展を実施し、資料を公開する。		◎				→	その他
③	24-2	多様な媒体を用いた情報発信 市HPや観光情報サイト、SNS、広報誌等で街道の魅力を発信する。	○	○	◎			→	市
④	32-2	観光資源としての活用 中山道や善光寺街道の文化財を散策するツアーを企画・実施する。 (社寺等のご朱印巡りなど)	◎		○			→	市
⑤	33-1	日本遺産を通じた地域の活性化 日本遺産「木曽路はすべて山の中」に関わる街道や宿場などを活かした商品開発や観光ツアーの造成を行う。	◎		◎			→	その他
⑥	34-1	学校における郷土学習の実施 学校教育との連携を深め、総合的な時間を活用し、街道や宿場を学び、文化財を大切にすることを育む機会を創出する。	◎		○			→	その他
⑦	35-1	文化財を活用した生涯学習の推進 公民館活動等において、街道と宿場をテーマとした事業を実施する。			◎			→	市
⑧	36-1	地域における郷土学習の実施 地域の歴史同好会等により、中山道の洗馬宿や奈良井宿などに関する歴史講座の開催や地元にある文化財の現地学習会を行う。	◎		○			→	その他
⑨	43-1	観光ガイドの育成 重伝建地区奈良井をはじめとする観光ガイドの育成及び研修を行う。	◎		○			→	その他